

米の大切さを知ってもらうために

茨城県立伊奈高等学校：

概要

小学生にお米についての魅力や大切さを知ってもらいたい

序論

つくばみらい市の米作りに関わる人は高齢の方が多い。

米作りに興味を持つ若者が少ない
⇒米作りの魅力を知ってもらいたい

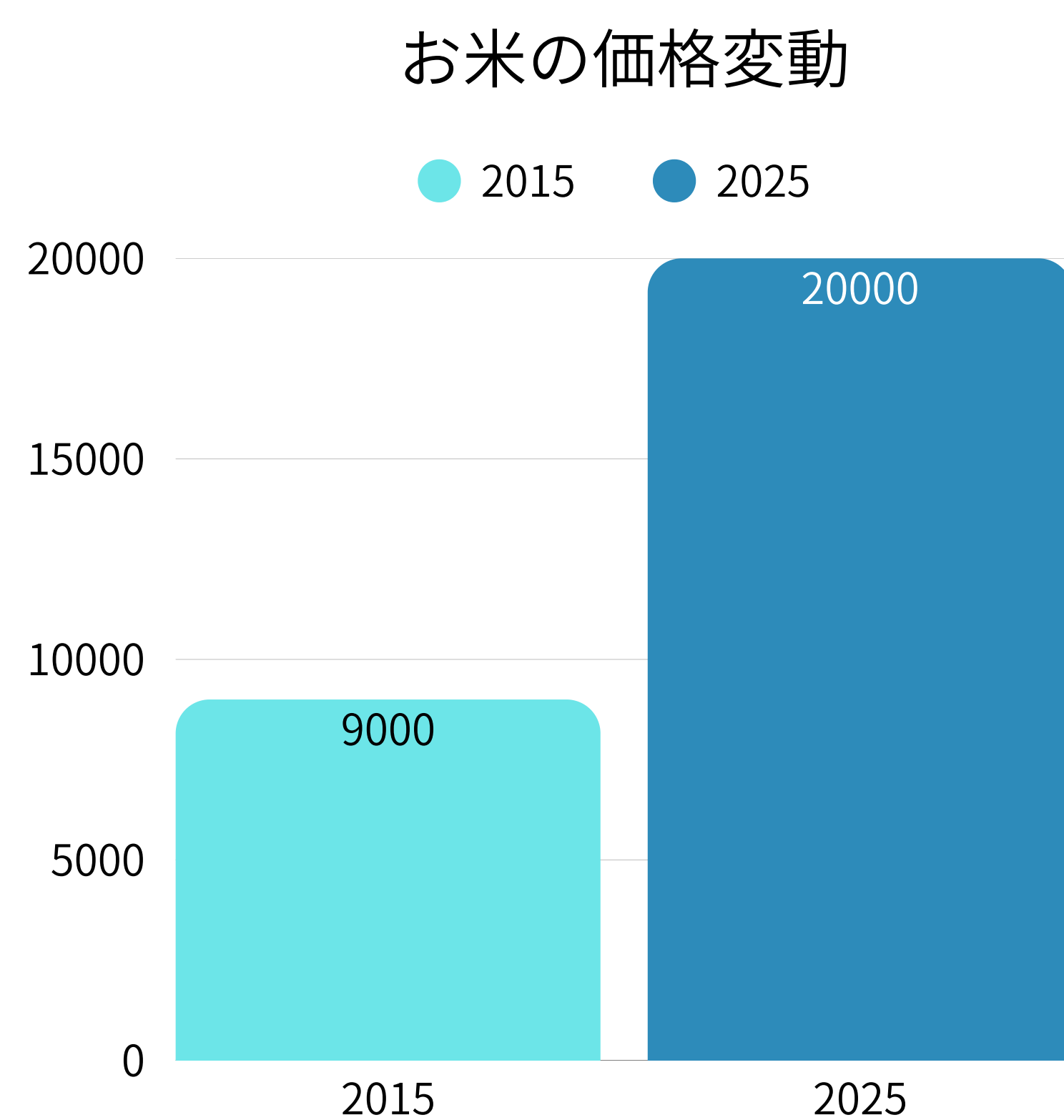
方法

- ①農家さんにインタビュー。
- ②お米についての新聞を作り、つくばみらい市の小学校に配布し、アンケートを取る。

結果①

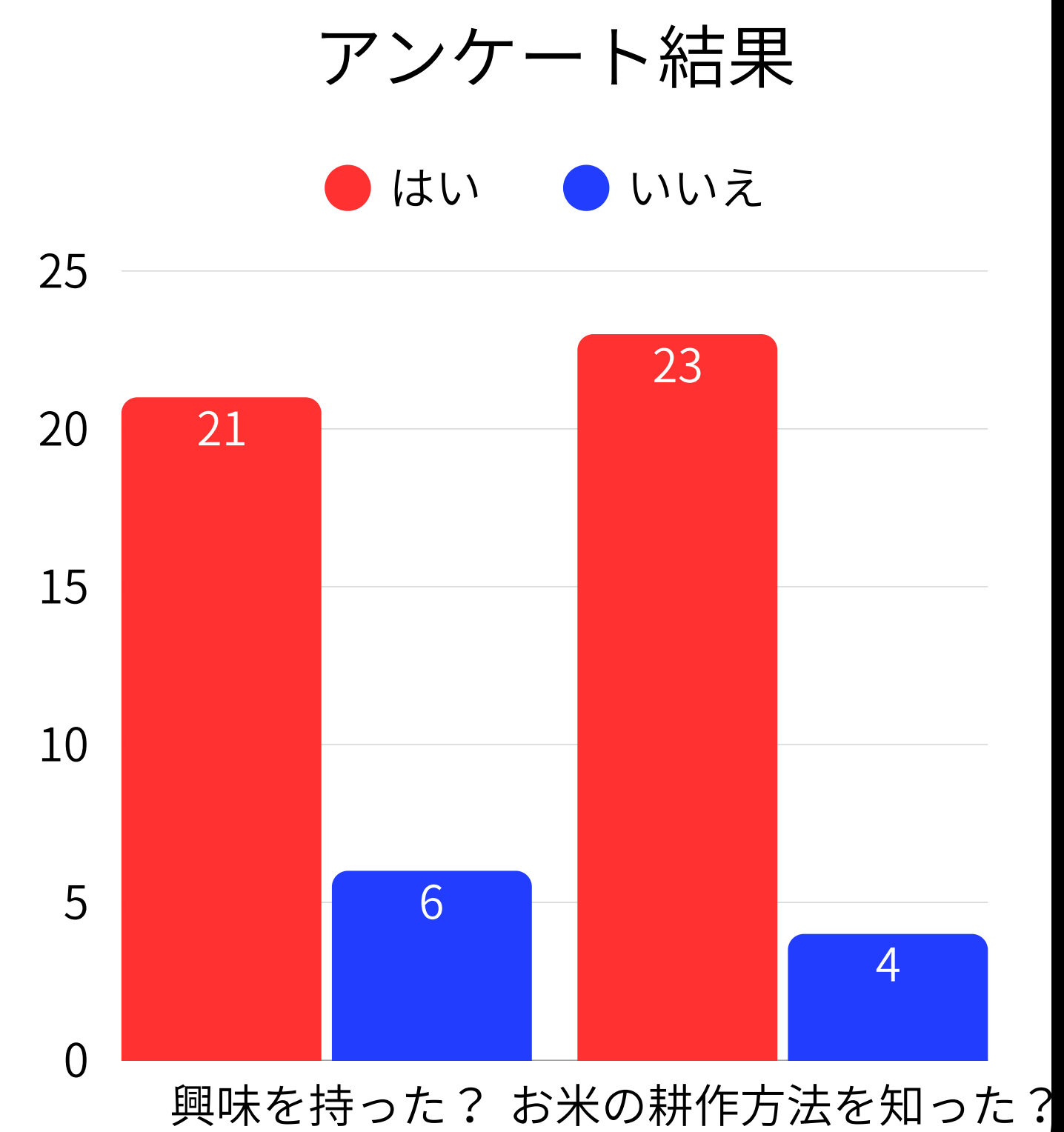
10年前のお米30キロの価格は現在のお米よりも約1万円ほど安かった。

現在はお米30キロあたり2万円とかなり高騰している。



結果②

伊奈小学校に掲載し、お米新聞を見て、読んでお米に対する興味・関心を持ったかどうかのアンケートを4年生に対して行った。



考察

結果1からわかること

➡お米の消費量を増加させるために、つくばみらい市周辺の小中学校や保護者への講演会や体験会をボランティアとして開き、お米の魅力を知ってもらうことが必要なのでは

アンケートからわかったこと

➡お米に対してのつくばみらい市の子どもたちの好奇心が高いと考える

➡お米に触れ合える体験の機会や教育の場所が必要だと考える

展望

・お米作りに対して関わる機会を増やして興味を持ってもらう

例：お米作り体験（田植え～収穫したお米を食べるまで！）

美味しいお米の食べ方アピール